

# 令和 2 年度 事業シート

第6次廿日市市総合計画（前期基本計画）

担当課名	経営企画部シティプロモーション室		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

方向性	4 新たな可能性に挑む
重点施策	1 はつかいちの新たな魅力を創造する
施策方針	3 シティプロモーション等による人口減少対策と新たな交流事業の推進

事業名	シティプロモーション事業	事業開始年度	平成 27 年度
	市の魅力を効果的に発信する	根拠法令 条例 個別計画等	まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	まちとしての活力を維持するため	本市の魅力を高め、発信することにより、居住地としての認知度、好感度を上げ、転入促進及び転出抑制により、人口減少を抑制し、まちの活力を維持する。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	シティプロモーションの実施	市内の各種団体・市民・メディア・不動産関係者等	魅力の創造、発信

## 3 令和 2 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	【歳入】	
	・まちづくり推進基金繰入金（広島県未来の地域づくり応援交付金）	20,000 千円
活動内容	【歳出】	
	・シティプロモーション 移住・定住促進及び転出抑制のため、本市の魅力を効果的にPRする事業を実施し、市の内外に発信する。 シティプロモーション事業委託料 30,000 千円 首都圏プロモーション業務委託料 1,500 千円 わがまち魅力発信隊実施業務委託料 850 千円 移住・定住情報サイトリニューアル業務委託料 1,000 千円 不動産情報誌広告料等 2,570 千円	
活動内容	・事務費 旅費等	1,635 千円
	・負担金 広島県交流・定住促進協議会負担金	76 千円
活動内容	計	37,631 千円

コスト情報(円)	項目	平成 30 年度決算	令和 1 年度予算	令和 2 年度予算
	財源内訳	直接事業費 A	24,779,408	38,740,000
国庫支出金				
県支出金				
借入金(市債)			26,000,000	20,000,000
その他(使用料など)				
	市(市税など)	24,779,408	12,740,000	17,631,000
	人件費(按分) B	2.00 人 17,122,000	2.00 人 17,414,000	2.00 人 17,018,000
	総事業費(A+B)	41,901,408	56,154,000	54,649,000
ト換算	① 人口(4月1日現在)	117,487 人	117,487 人	117,215 人
	② 市民1人当たり	357	478	466

到達目標	活動及び成果指標	単位	H30実績値	R1目標値	R2目標値	備考
	活動	プロモーション実施(モニターツアー)	回	3	4	4
移住・定住フェアの出展実施		回	3	4	4	
成果	社会動態	-	転入超過	転入超過	転入超過	
	WEB調査効果測定	%	44.0%	50.0%	55.0%	本市で暮らすことに興味・関心があったと回答した人の割合

# 令和 2 年度 事業シート

第6次廿日市市総合計画（前期基本計画）

担当課名	建設部 建設総務課		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	02	道路橋りょう費
	目	02	道路橋りょう新設改良費

方向性	4 新たな可能性に挑む
重点施策	1 はつかいちの新たな魅力を創造する
施策方針	1 新たな都市活力創出基盤の整備推進

事業名	道路整備事業	事業開始年度	令和 2 年度
		根拠法令 条例 個別計画等	道路法

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	周辺地区の住民 道路利用者 など	地域の実情や多様なニーズに応じた生活基盤の整備を計画的に進め、安全性・利便性・快適性の向上を目指す

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	・測量設計調査業務	国、県、西日本高速道路等	地区協議会の開催、ネクスコ用地内検討など

## 3 令和 2 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	事業内容 新機能都市開発事業に伴い新設される幹線道路と宮島スマートICを接続する道路について、大型車対応などの機能強化の検討及び、道路予備設計を行う。							
	【歳入】	公共施設等整備基金繰入金		20,000	千円			
	【歳出】	宮島S I C接続道路外検討業務		22,328	千円			
コスト情報(円)	項目		平成 30 年度決算	令和 1 年度予算	令和 2 年度予算			
	財源内訳	直接事業費 A				22,328,000		
		国庫支出金						
		県支出金						
		借入金(市債)						
		その他(使用料など)				20,000,000		
		市(市税など)				2,328,000		
		人件費(按分) B	人	人	0.10 人	850,900		
		総事業費(A+B)				23,178,900		
	ト換算	①	人口(4月1日現在)	117,487 人	117,487 人	117,215 人		
②		市民1人当たり			198			
到達目標	活動及び成果指標		単位	H29 実績値	H30 目標値	R1 目標値	R2 目標値	備考
	活動	整備延長	m				-	数値なし
成果	整備率	%					-	数値なし

# 令和 2 年度 事業シート

第6次廿日市市総合計画（前期基本計画）

担当課名	建設部 施設整備課		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	02	道路橋りょう費
	目	02	道路橋りょう新設改良費

方向性 4 新たな可能性に挑む  
 重点施策 1 はつかいちの新たな魅力を創造する  
 施策方針 2 宮島口地区における新たな観光交流拠点の整備

事業名	<b>道路整備事業</b>	事業開始年度	平成 22 年度
	市道赤崎14号線整備事業	根拠法令 条例 個別計画等	合併建設計画 宮島口地区まちづくり「グランドデザイン・整備計画」

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	・宮島観光客 ・地域住民	市道赤崎14号線道路整備により、JR宮島口駅勢圏のネットワークを構築し、地域の生活環境を向上させる。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
廿日市市	道路整備(用地交渉、工事、関係者協議・調整)	地元関係者 J R	関係団体と連携し事業を促進する

## 3 令和 2 年度 予算 (事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

活動内容	《制度・事業の概要》			
	○宮島口地区の道路整備 ・渋滞緩和や地区内の利便性、生活環境向上を目的とした”赤崎14号線”の道路整備を推進する。 ・これまで地形測量、実施設計、補償調査、用地買収、道路改良工事等を進めてきており、東側1工区300m区間の供用開始を行った。引き続き西側2工区の用地買収を進める。			
活動内容	【歳入】			
	社会資本整備総合交付金 公共事業等債(充当率90%) 地方道路等整備事業債(充当率90%) 公共施設等整備基金繰入金		11,550千円 8,500千円 4,500千円 1,500千円	
活動内容	【歳出】			
	分筆図作成・補償調査再算定委託料 道路改良工事 用地購入費 家屋等移転補償費 不動産鑑定評価手数料 事務費(印紙代)		2,000千円 9,000千円 12,000千円 3,000千円 100千円 10千円	

コスト情報(円)	項目	平成 30 年度決算	令和 1 年度予算	令和 2 年度予算
	財源内訳	直接事業費 A	385,938,467	175,196,000
国庫支出金		202,369,000	67,160,000	11,550,000
県支出金				
借入金(市債)		173,800,000	101,900,000	13,000,000
その他(使用料など)		5,000,000	6,000,000	1,500,000
	市(市税など)	4,769,467	136,000	60,000
	人件費(按分) B	2.00人 17,122,000	0.90人 7,836,300	0.10人 850,900
	総事業費(A+B)	403,060,467	183,032,300	26,960,900
ト換算	① 人口(4月1日現在)	117,487人	117,487人	117,215人
	② 市民1人当たり	3,431	1,558	230

到達目標	活動及び成果指標	単位	H30実績値	R1目標値	R2目標値	備考
	活動	整備率(整備延長ベース)	%	53	60	68
成果	整備延長(14号線500m)	m	265	300	340	

# 令和 2 年度 事業シート

第6次廿日市市総合計画（前期基本計画）

担当課名	建設部 都市計画課		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	04	都市計画費
目	01	都市計画総務費	

方向性 4 新たな可能性に挑む  
 重点施策 1 はつかいちの新たな魅力を創造する  
 施策方針 2 宮島口地区における新たな観光交流拠点の整備

事業名	<b>景観形成推進事業</b>	事業開始年度	平成 23 年度
	良好な景観づくりの推進	根拠法令 条例 個別計画等	景観法、廿日市市景観条例、 廿日市市景観計画、屋外広告 物法(条例)

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民、事業者、来訪者	市民が愛着と誇りを感じ、来訪者の心に残る景観形成を推進するため、市民・事業者・市の協働により、「優れた景観の保全」・「多様で個性豊かな景観の活用」・「新たな景観の創出」を行い、それらを「未来につなぎ・さらに育む」、息の長い景観形成の取り組みを展開する。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	関連施策の展開、公共施設等の建設・整備による先導的な景観形成の実施、市民や事業者への支援	市民・事業者	自主的な活動の展開 取り組みへの積極的な参加と協力 関連法令の遵守

## 3 令和 2 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	《制度・事業の概要》						
	・景観形成推進事業(宮島口地区) 宮島口地区については、本市の景観形成において、施策展開など先導的な役割を果たす区域として重点的な景観施策の実施を進めていく。 重要な景観構成要素である屋外広告物についても、より一層の景観形成の推進に取り組んでいく。 令和2年度は、当地区の景観ガイドラインに定める景観形成基準に基づく改修工事などに対する支援を行う。						
活動内容	【歳入】	・社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業費補助金）			4,000 千円		
					計 4,000 千円		
活動内容	【歳出】	・委託料[単独] 宮島口地区景観形成アドバイザー業務			330 千円		
		・負担金、補助金及び交付金[補助] 宮島口地区街なみ環境整備事業費補助(民間改修工事等への補助)			8,000 千円		
					計 8,330 千円		
コスト情報(円)	項目		平成 30 年度決算	令和 1 年度予算	令和 2 年度予算		
	財源内訳	直接事業費 A		8,330,000	8,330,000		
		国庫支出金		4,000,000	4,000,000		
		県支出金					
		借入金(市債)					
		その他(使用料など)					
		市(市税など)		4,330,000	4,330,000		
		人件費(按分) B	人	人	0.30 人 2,552,700		
		総事業費(A+B)		8,330,000	10,882,700		
	単位 ト換算 コスト	①	人口(4月1日現在)	117,487 人	117,487 人	117,215 人	
		市民1人当たり		71	93		
到達 目標	活動及び成果指標		単位	H30 実績値	R1 目標値	R2 目標値	備考
	活動	景観セミナー、ワークショップ等開催回数	回	28	28	30	H22からの累計
		景観ガイドラインの策定	%	100	-	-	
	成果	景観セミナー、ワークショップ等参加者数	人	993	993	1,053	H22からの累計
		景観ガイドラインに沿った修景	件	-	4	14	R1からの累計